

老年看護学臨地実習I

必修 開講年次：3年次前期 科目区分：実習 単 位：1単位 講義時間：45時間

■**科目のねらい**：地域で自立・自律した生活を営む健康な高齢者との触れ合いを通して、高齢者の暮らしや健康への配慮の仕方を体験的に学ぶ。その学びを通して、加齢に伴う身体的・精神的・社会的要因、健康および日常生活上の課題について考察する。

- 到達目標**：
- 1) 健康高齢者を通して老年期の発達課題を説明できる。
 - 2) 健康高齢者について身体的・精神的・社会的側面から説明できる。
 - 3) 健康高齢者の健康と生活に関わる課題を説明できる。
 - 4) 老人福祉センターという場の特徴を説明できる。
 - 5) 健康高齢者と援助的人間関係を形成できる。
 - 6) 健康高齢者のQOLのあり方を説明できる。
 - 7) 健康高齢者をライフコースの延長線上にある人として説明できる。
 - 8) 健康高齢者に対するリスクマネジメントを説明できる。
 - 9) 老年看護についての学習成果を明確にできる。
 - 10) 学習者としての省察と課題の明確化ができる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎原井 美佳・村松 真澄・中田 亜由美

■**授業計画・内容**：

実習施設：中央老人福祉センター、東老人福祉センター、厚別老人福祉センター、豊平老人福祉センター、南老人福祉センター、西老人福祉センター、白石老人福祉センター、清田老人福祉センター、北老人福祉センター、手稲老人福祉センター
詳細は実習要項を参照のこと

■**教科書**：使用しない

■**参考文献**：奥野茂代 編著 老年看護学概論と看護の実践 第5版 東京 ヌーベルヒロカワ 2013

■**成績評価基準と方法**：出席日数、実習内容、実習記録などから到達目標の達成度を総合的に評価する。

評価方法	評価目標	評価基準	評価割合 (%)
	到達目標1～10		
実習	◎	到達目標達成度 主体的な姿勢	70
実習レポート	◎	内容の適切性	15
インタビュー	◎	記録の適切性	10
実習報告会	◎	質疑の参加状況	5
出席		2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：これまでの老年看護学の学修を統合する実習です。老人福祉センターの利用者から学ぶという基本姿勢を大切にしてください。対象や場に応じた挨拶や言葉遣い、身だしなみに留意して実習に臨んでください。